

和泉市政策調整委員会  
委員長 森吉 豊 様

都市デザイン部長 林田 勝巳

## 和泉市政策調整委員会付議要求書

和泉市政策調整委員会要綱第 6 条の規定に基づき、別紙資料を添えて付議要求します。

### 記

#### 【付議案件名】

富秋中学校区等地域における跡地活用について

#### 【審議事項】

富秋中学校区等跡地活用ビジョンにおける次の事項について

- ①各施設配置の考え方
- ②再編又は移転する公共施設の配置
- ③幸小学校及び池上小学校の跡地に誘導を図る民間施設の機能

#### 【案件概要】

富秋中学校区等まちづくり構想では、当該構想の推進により発生する跡地については、官民連携手法を導入することにより、民間事業者のアイデアやノウハウなどを積極的に活用することの必要性を謳っている。

これを受け、「富秋中学校区等における市営住宅等建替他公共施設整備等事業」の実施に向けて、当初は跡地活用を含めた民間事業者の選定を検討していたものの、民間事業者へのサウンディング調査等の結果を踏まえ、令和 4 年 2 月 9 日実施の庁議において、一括発注するのではなく、別途実施とすることや市民体育館の移転候補地は、幸団地及び北部総合福祉会館跡地とすることを併せて意思決定した。

このため、跡地活用に係る計画策定については、民間活力導入可能性調査及びサウンディング調査の結果を踏まえ、令和 4 年度中の策定をめざし、公共施設の配置やまちの魅力を高める施設の誘導や新たな定住を促す住宅地の誘導などの方向性の検討に着手したが、公共施設の配置が決まらないなど諸条件の見通しが困難であった等の状況から策定には至らなかった。

今後、(仮称) 富秋学園の整備や市営住宅集約建替他公共施設整備等事業に伴い発生する跡地について、円滑に活用を行っていくには、「若者・子育て世帯の定住」や「まちの魅力づくり」につながる跡地活用の指針として、公共施設の配置、民間施設の誘導を図る機能やエリアのゾーニングなどを示すことにより、当該エリアの将来像を共有する必要がある。

以上のことから、富秋中学校区等跡地活用ビジョンに定めるべき項目のうち、全庁横断的な調整を要する部分として、各施設配置の考え方を踏まえ、再編又は移転する公共施設の配置を決定するとともに、特に拠点となる幸小学校及び池上小学校の跡地において、民間施設の誘導を図る機能について、政策調整委員会での審議をお願いするもの。

<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・跡地活用の方向性や施設配置を市、民間事業者、地域住民をはじめとする市民の三者が共有することができる。</li> <li>・民間事業者の購入（出店）意欲をかきたて、まちづくりに投資を行う際の重要な判断材料の一つになる役割を期待することができる。</li> <li>・都市計画（用途地域）変更の根拠資料として活用する。</li> </ul>
<p>【担当課】</p> <p>都市デザイン部 都市政策室 富秋中学校区等まちづくり担当  （関係課）福祉総務課、高齢介護室 高齢支援担当、健康づくり推進室 病院経営管理担当、  建築住宅室 住宅政策担当、学校園管理室 教育施設担当、  生涯学習推進室 スポーツ振興担当、文化遺産活用課</p>
<p>【出席予定者】</p> <p>吉田副市長、大槻教育長、並木参与、堀危機管理部長、前田市長公室長、土本総務部長、  山崎環境産業部長、西川福祉部長、藤原子育て健康部長、東教育・こども部長、  辻教育次長兼生涯学習部長、  田嶋政策・資産マネジメント担当課長、左海財政課長</p>
<p>【その他】</p>